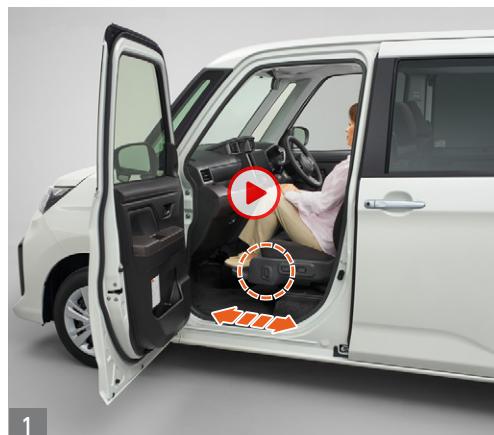


助手席リフトアップシート 操作の流れ

●安全のため各操作は介助の方が確実に行ってください。※写真は降車時の手順を説明しています。乗車時は逆の手順で行ってください。[参考]写真のモデルの身長は150cmです。



1

助手席ドアを開けて、ワイヤレスリモコンスイッチ（または、シート昇降スイッチ）を押し続けると、回転開始位置までシートがスライドして、背もたれ角度を自動的に調整します。
※助手席アームレストとフットレストをご使用ください。
※シートベルトを着用しているときは、ワイヤレスリモコンスイッチやシート昇降スイッチを押してもシートは回転しません。
※シートは乗車完了時のシートポジション（スライド位置・リクライニング角度）を自動的に記憶します。



ワイヤレスリモコン
Ⓐ シート上昇スイッチ
Ⓑ シート下降スイッチ
Ⓒ 電源スイッチ



2

シートは背もたれが倒れずに外側に回転します。



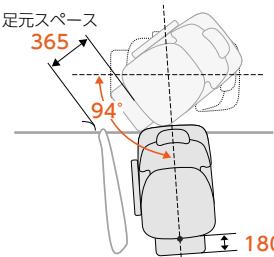
3

ワンモーションのスムーズな動きで、引き続きシートは自動的に下降します。

※シートは任意の高さで止められ、下降を停止した時の高さを自動的に記憶します（メモリー範囲は最下端から200mm）。

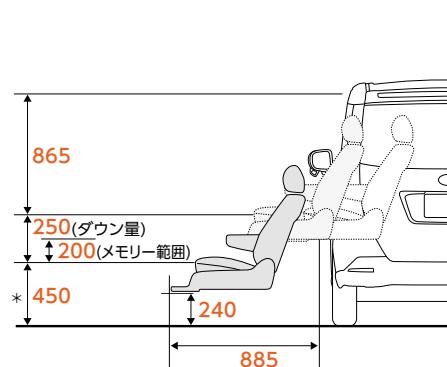
助手席リフトアップシート車 諸元（単位:mm）

回転時・昇降時寸法

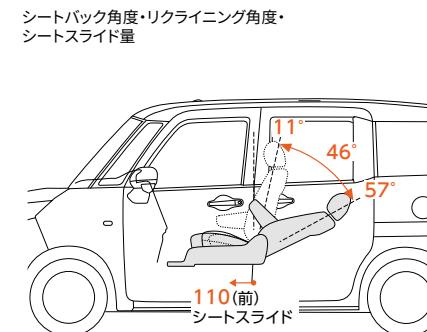


※フロントドア（助手席側）の開口角度は80°（標準車と同じ）です。

リフト能力：100kg（シートを除く）	回転・下降時間：35~45秒
上昇・回転時間：35~45秒	



*シートの座面高は座面中央最高部までの寸法です。



※運転席は標準車と同じ数値です。

●各寸法値は設計値を示します。実測値は若干異なることがあります。



助手席リフトアップシート車について

シートに深く着座できない方、ひざや首が曲がらない方の場合、足や頭がボディにあたり、座った状態でのシートの回転が困難になりますのでご注意ください。

- 体勢保持のため、助手席アームレストとフットレストをご使用ください。
- 助手席リフトアップシートは、標準車のシートとは異なります。フレリクライニングはできません。シートスライド量、シートバック角度も標準車とは異なります。また、シート格納時座面が標準車と比べて約15mm高くなります。
- 助手席リフトアップシートにチャイルドシートは装着できません。
- 助手席側リヤシートのダイブイン格納ができません。